

令和7年度（2025年度）授業力ブラッシュアップ研修（小学校理科） 実施要項

1 目的

「観察、実験を伴う実習による実体験」や講義等を通して、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決するために必要な資質・能力を育成する授業の在り方について実感を伴った理解を深め、実践的指導力を高めることで、「問題解決の過程」を踏まえた授業改善を推進します。

2 主催

北海道立教育研究所

3 期日

- (1) 令和7年（2025年）10月23日（木）～10月24日（金） 集合型研修
 （令和7年（2025年）10月～令和8年（2026年）2月 職場実践）
 (2) 令和8年（2026年）2月6日（金） 遠隔型研修

4 実施方法及び会場

(1) 実施方法

本講座は、全2回の研修のうち、1回目の研修は集合型研修、2回目の研修は遠隔型研修により実施します。

(2) 会場

ア 遠隔型研修

各受講者の勤務校（勤務校にいながら受講することが可能です。）

イ 集合型研修

酪農学園大学（江別市文京台緑町582番地）

5 参加対象

小学校等教諭（理科専科）

6 研修内容及び日程（職場実践（自己研修）を除く）

10/23（木）9:15～16:50 集合型研修						
受付 [8:50 ～ 9:15]	開講・ オリエ ンテー ション [9:15 ～ 9:30]	説明 [9:30 ～ 10:00]	講義 [10:00～11:00] 「問題解決の力を育む理科教育と教科等横断的な学習」 酪農学園大学教授 金本吉泰氏	実習 [11:10～12:00] 粒子領域の観察・実験	実習 [13:00～14:20] (午前の続き)	実習 [14:30～16:50] 地学領域の観察・実験

10/24（金）9:00～16:00 集合型研修			
実習 [9:00～11:30] エネルギー領域の観察・実験	実習 [11:40～12:00] 生命領域の観察・実験	実習 [13:00～15:10] (午前の続き)	研修の振り返り [15:20 ～16:00]

2/6（金）13:30～16:10 遠隔型研修				
接続 受付 [13:00 ～ 13:15]	接続最 終確認 [13:15 ～ 13:30]	実践交流及び情報交換 [13:30～15:00] 授業改善・評価の充実について の自校での実践成果発表・交流	協議 [15:10～15:40] 理科に関する先進 的な取組事例など	研修の振り返り [15:40～16:10] 今後の取組の明確化

7 講師及び実践発表者

集合型研修

【講義】「問題解決の力を育む理科教育と教科等横断的な学習」

酪農学園大学教授 金本吉泰氏

8 受講に係る留意事項

(1) 集合型研修

ア 携帯電話及びスマートフォンは、マナーモードに設定願います。

イ 受講中は、随時、水分を補給していただいて結構です。

ウ 個人のパソコンやUSBメモリ等の電子媒体は、ウイルス対策により会場の情報機器に接続しないようお願いします。

エ 教育資料室及び関連資料を希望する場合は、運営者に申し出てください。

オ 講座期間中、研究相談、教育相談等を受け付けています。校内研修や授業改善の進め方、生徒指導に関して、相談や入手したい資料などがありましたら運営者にお気軽に声をかけてください。

(2) 遠隔型研修

ア 本研修講座で使用する配信画面、配信動画等を無断で録画(スクリーンショットでの撮影を含む)、録音、ダウンロードしないでください。

イ 接続不具合等により講座の一部を受講できなかった場合の対応については、別途お知らせします。

(3) その他

ア それぞれのコマを開始時刻から直ぐにスタートできるよう、接続や研修会場又は研修講座を受講する場所への移動に御協力願います。

イ 受講者としてふさわしい服装で受講してください。

ウ 研修講座アンケートは、講座修了後に回答いただきますので、御協力願います。

エ 研修講座の紹介のため、本研修講座の様子を写真や動画として撮影させていただく場合がありますので、御了承願います。

9 その他

(1) 研修終了後、当ホームページに研修の様子を掲載させていただく場合もあります。

そのため写真に顔等が映り込むことがございますので、あらかじめ御了承ください。

(2) 遠隔型研修の受講に当たっては、インターネットの接続が可能な端末(カメラ機能・音声入出力機能有り)が必要となります。